

結核について

令和3年度、大阪府では肺結核と診断された患者のうち65歳以上が75%を占めています。
毎年、高齢者施設の入所者も結核と診断されています。

倦怠感（だるさ）



咳・痰（2週間以上）



体重減少



結核は初期症状が風邪によく似ています。



食欲不振



微熱



胸痛・息苦しさ

高齢者は体重減少、食欲不振、元気がないなど、呼吸器症状（咳・痰症状）がなくても、発病していることがあります。このような症状が続いたら早めに医療機関を受診しましょう。

事例紹介

80歳代女性。令和X年1月、有料老人ホームに入所。
入所時から一度も胸部X線検査は実施していなかった。
6月頃から食欲低下していたが、他の症状見られず様子を見ていた。
12月に発熱し咳も出現したため受診したところ結核を診断された。

令和X年1月

入所時と定期的な
胸部X線検査未実施



令和X年6月

食欲低下見られた
が受診せず



令和X年12月

発熱・咳出現し受診



胸部X線撮影、喀痰検査等を実施し、

結核診断

喀痰からは多量に結核菌が検出

もっと
早く発見していれば

喀痰から多量に結核菌が検出されたため、
この女性は入院が必要になりました。
施設では周りの人たちの接触者健診が必要になりました。

入院も接触者健診も不要だったかもしれません。

結核を早く発見するためには

1. 定期的に健康診断の機会を設ける

職員だけでなく入所者も年に1回は胸部X線検査を受けましょう。
病気の早期発見、早期治療のために、健康診断は大切です。
かかりつけ医や住民票のある市の窓口へお尋ねください。



2. 有症状時は早めの受診を

高齢者は2週間以上続く咳や痰といった呼吸器症状がなくても、
結核を発症している場合があります。
体重減少、食欲不振、元気がないなどの症状が続くときは
早期受診をお願いします。



結核についてもっと詳しい情報は・・・

大阪府 結核

検索



社会福祉施設に期待されること

令和3年末現在、日本のHIV陽性者は33,500人を超え、年々増加しています。治療の進歩でHIV感染症は慢性疾患となり、加齢による在宅生活が継続困難となったり、長期療養が必要となるHIV陽性者が徐々に増えてきました。そこで、HIV陽性者に対して、福祉施設が「地域における受け皿」としての需要が高まっています。

まずは「HIV/エイズ」を正しく知ることから

皆さんの勤める福祉施設にも、ある日突然受け入れの要請があるかもしれません。けれども、HIV陽性だからといって不安や恐れを抱く必要はありません。まずは、「HIV/エイズ」を正しく知ることからはじめましょう。

簡単にはうつりません

HIVは、**感染力の弱いウイルス**です。性行為による感染と血液による感染に注意していれば、**日常生活で感染することはありません。**



HIV /エイズは死の病ではありません

治療法は飛躍的に**進歩**し、きちんと治療を受けていれば、**今までと同じような日常生活**を送れるようになりました。



HIV/エイズについてもっと詳しい情報は

大阪府 エイズ・HIV

検索



結核・HIV/エイズに関しては
管轄保健所にご相談ください！



保健所	電話	所管区域
大阪府和泉保健所	0725-41-1392	和泉市、泉大津市、高石市、忠岡町
大阪府岸和田保健所	072-422-6077	岸和田市、貝塚市
大阪府泉佐野保健所	072-462-7703	泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町